

令和2年5月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和2年5月25日(月) 午後1時30分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室101、102

3 出席委員の氏名

教育長	遠藤 浩	教育長職務代理者	黒川 優子
委員	山崎 克弥	委員	中野 信男
委員	秦 久美子	委員	斎藤 純郎

4 説明のため出席した職員

教育次長	宮路 一規		
学校教育課長	太田 和行	子育て支援課長	白井 健次
社会教育課長	石田 進一	統括指導主事	大森 亨

5 本委員会書記

学校教育課 向井 康弘 他1名

6 傍聴人

1名

7 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 新型コロナウイルス感染症に対する教育委員会の対応について
- (2) 行事報告及び行事予定
- (3) 教育長報告
- (4) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第5号 共催・後援の教育長専決報告について

議案

議案第35号 燕市学校給食運営委員会委員の委嘱について

議案第 36 号 燕市立小中学校における衛生管理者及び衛生推進者の選任について

議案第 37 号 燕市就学援助実施要綱の一部改正について

議案第 38 号 燕市公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第 39 号 燕市スポーツ推進委員の委嘱について

議案第 40 号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

議案第 41 号 燕市文化会館運営審議会委員の委嘱について

議案第 42 号 燕市社会教育委員の委嘱について

議案第 43 号 燕市図書館協議会委員の委嘱について

議案第 44 号 燕市文化財調査審議会委員の委嘱について

その他

(1) 燕市教育委員会パワハラ防止対策について

8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午後1時26分～

2. 会議録署名委員の指名 中 野 信 男 委 員

3. 諸報告

(1) 新型コロナウイルス感染症に対する教育委員会の対応について

〈大森統括指導主事、白井子育て支援課長、石田社会教育課長が報告〉

○委員（斎藤 純郎）

全体を通して感染予防策を講じた慎重な対応に市民も安心していると思う。学校教育課の「学習お助け隊」と「学習サポートデスク」の利用状況はどうだったのか。

○統括指導主事（大森 亨）

学校によつての幅はあるが、中学校は平均7人、「つばくろ学習クラブ」が開始して「学習お助け隊」等が休止になったため、小学校は平均1人弱となっている。

○委員（斎藤 純郎）

子供たちの疑問をどのように解決したらよいかを保護者は心配していると思うので、このような事業はとても助かっていると思う。

○委員（中野 信男）

学校教育課の「つばくろWEB」と「G Suite」はどのような事業なのか。また、5月25日からの学校再開と24日までの再開は何が異なるのか。

○統括指導主事（大森 亨）

「つばくろWEB」は学校教育課、「G Suite」は各学校が作成したものである。内容は一方通行ではあるが、教師なり指導者が子供たちに動画配信を行っている。

24日までは給食後に下校、25日からは給食後に午後の活動を行った後に下校という違いの再開である。

○教育長（遠藤 浩）

それぞれ学校ごとや子供たち専用のパスワードを渡して、限定して見られるようなものになっている。

(2) 行事報告及び行事予定について

〈各課長が報告〉

○委員（黒川 優子）

子供たちの学習時間が80時間程足りていないと聞くが、夏休みを少なくするなど、どこかで補充する考えはあるのか。

○教育長（遠藤 浩）

燕市は15日夏休みを短縮し90時間相当を確保した。夏休み頃で大体の遅れを取り戻せる予定である。コマ数の帳尻は合うが、勉強とはコマ数を合わせるだけではないと思うので、各学校でも色々と考えている。学校によっては短縮日が12日や15日などの違いが出てくると思う。息苦しい縮め方ではなく余裕を持った考え方をしていきたい。

### （3）教育長報告

〈遠藤教育長が以下のとおり報告〉

#### 0 はじめに

新しい生活様式を意識しつつ、様々な活動が再開してきている。活動の前提となるこれまでと異なる生活ができるかが、今後を決めていくことになるだろう。自分の行動の記録をつけておく。きっとスマホがあればよい。検温の記録、これもスマホのリマインド機能で忘れることはないだろう。おそらく、きっとできないこと、それは人どうしが物理的な距離をとること。ビジネスの世界ではテレワークが一番いい、窓口はペッパーに任せて、食堂ではアシモにどんぶりを運ばせればいい。学校は難しい、なぜか、それは我々教員に経験がないから。教員もネット授業を学ばねばならない、某衛星予備校のネット授業を見たことはあるだろうか。とても上手い、間がいい、90分飽きさせない。授業が下手な教員は不要になる、教員不足を改善できる。新しい教育手法により、学校での体育の授業と部活動が成立しない？身体接触を避けたら、体操とランニングぐらいしか残らないのではないか。スポーツはクラブチームでやることになるだろう。団体で乗り物に乗って長距離を移動する修学旅行はできそうにない。そう、新しい生活様式を踏まえた新しい学校では、家庭の教育力が子供を伸ばしていくことになる。学校の存在そのものが検討の対象になっていく気がしている。

#### 1 新型コロナウイルス感染症への対応

政府の緊急事態宣言が解消され、本市でも段階的に学校での教育活動を再開してきた。これまでの時間を取り返したいという大人たちのはやる気持ちを少し押さえながら、子供たちの成長を導きたい。学校への不適應者を増やしてはいけない。

#### 2 働き方改革

4月、5月は新型コロナウイルス感染症への対応で、不慣れな業務を行った教員も多かったとは思いますが、所定の勤務時間で勤務が行えたと認識している。この事実

は、教員の授業以外の業務がいかに負担になっているかということの裏返しでもあ  
ると考えさせられる。

### 3 いわゆるパワハラ防止法への対応

6月から学校において、いわゆるパワハラ防止法が適用される。これは昨年5月  
の「労働施策総合推進法」の成立を受けたものであり、この法律がパワハラ防止法  
と通称で呼ばれている。そして、今年1月に厚労省がパワハラ、セクハラのそれ  
ぞれの防止の「指針」を制定し、文科省は3月19日付けでそれら指針が6月1日か  
ら学校でも適用になることを各教育委員会に通知した。

本市では、独自に方針を定め、管理職研修などに加え、教員の訴えを直接教育委員  
会で受け付ける窓口を開設することとしている。

## (4) 寄附報告

11件の寄附について

〈No. 1、2、6、7について石田社会教育課長が説明〉

〈No. 3、9、11について白井子育て支援課長が説明〉

〈No. 4、5、8、10について太田学校教育課長が説明〉

## 4. 専決処分の報告について

報告第 5 号 共催・後援の教育長専決報告について

1件の後援について

〈No. 1について石田社会教育課長が説明〉

## 5. 議 案

議案第 35 号 燕市学校給食運営委員会委員の委嘱について

議案第 36 号 燕市立小中学校における衛生管理者及び衛生推進者  
の選任について

議案第 37 号 燕市就学援助実施要綱の一部改正について

〈太田学校教育課長が説明〉

議案第 38 号 燕市公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第 39 号 燕市スポーツ推進委員の委嘱について

議案第 40 号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

議案第 41 号 燕市文化会館運営審議会委員の委嘱について

議案第 42 号 燕市社会教育委員の委嘱について

議案第 43 号 燕市図書館協議会委員の委嘱について

議案第 44 号 燕市文化財調査審議会委員の委嘱について

〈石田社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 35～44 号は原案通り議決された。

## 6. その他

### (1) 燕市教育委員会パワハラ防止対策について

〈大森統括指導主事が説明〉

#### ○委員（中野 信男）

この法律の参考となる法律は何か。近々パワハラの定義が変わると聞いているが。

#### ○教育長（遠藤 浩）

平成 30 年 12 月にできた「労働施策総合推進法（パワハラ防止法）」であり、パワハラ防止法で検索しても出てこないようになっている。今年の 1 月に厚生労働省が公表し、3 月に文部科学省が追従、6 月 1 日に各事業所も適用となり、学校も適用主体となる。6 月 1 日が標準実施日となっている。

#### ○委員（中野 信男）

パワハラの実態はとても陰湿な例が多く表面に出てこないものも多いと思う。学校だと教諭を辞める場合もあるが、辞めた理由が表に出ないと対応も難しいと考えるがどう考えているのか。

#### ○教育長（遠藤 浩）

そのような事からこの内容としては、パワハラが発生した時、校長へ相談しにくい場合に市教委へ直接相談できるというメッセージを発信している。相談窓口がたくさんある事が大切だと考えている。

#### ○委員（中野 信男）

パワハラの定義がないと指導とパワハラの境界があやふやになると思うが。

#### ○教育長（遠藤 浩）

学校という組織はヒエラルキーがあるようでなく、教員間のパワハラはグレーゾーンが多い。管理職には正しい感覚を持ち続けてほしい。燕市は相談窓口を開設することと見逃さないという点に力を入れていきたい。

○委員（山崎 克弥）

校内研修を実施するとあるが、研修はとても大切だと思う。事例を示すことは重要だと思う。グレーゾーンに対して明確に事例を示し、何度も反復することが1番の方法だと思うが。

○教育長（遠藤 浩）

確かに事例を提示して学ぶことは大切だと思うので、研修では事例を数例用意したい。

7. 閉 会            午後2時30分

教 育 長 遠藤 浩 \_\_\_\_\_

会議録署名委員 中野 信男 \_\_\_\_\_

会議録調整者 竹田 亮子 \_\_\_\_\_